



平成29年1月10日

各位

上場会社名 株式会社 サカタのタネ
 代表者 代表取締役社長 坂田 宏
 (コード番号 1377)
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部長 宇治田 明史
 (TEL 045-945-8800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年7月11日に公表しました平成29年5月期第2四半期累計期間(平成28年6月1日～平成28年11月30日)の業績予想(連結・個別)と平成29年5月期通期(平成28年6月1日～平成29年5月31日)の業績予想(連結・個別)を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,300	3,900	4,000	2,800	62.22
今回修正予想(B)	28,221	5,600	5,875	4,319	95.98
増減額(B-A)	2,921	1,700	1,875	1,519	
増減率(%)	11.5	43.6	46.9	54.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年5月期第2四半期)	27,879	4,993	5,199	3,321	73.81

平成29年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,100	6,000	6,300	4,400	97.77
今回修正予想(B)	59,400	7,000	7,400	5,200	115.55
増減額(B-A)	3,300	1,000	1,100	800	
増減率(%)	5.9	16.7	17.5	18.2	
(ご参考)前期実績 (平成28年5月期)	58,773	7,317	7,555	5,215	115.90

平成29年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	1,700	1,300	28.89
今回修正予想(B)	17,277	3,087	2,468	54.86
増減額(B-A)	1,277	1,387	1,168	
増減率(%)	8.0	81.6	89.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年5月期第2四半期)	17,099	2,776	2,105	46.78

平成29年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,200	2,300	1,800	40.00
今回修正予想(B)	35,100	2,800	2,100	46.66
増減額(B-A)	900	500	300	
増減率(%)	2.6	21.7	16.7	
(ご参考)前期実績 (平成28年5月期)	36,164	3,456	2,520	56.01

修正の理由

(1) 第2四半期(累計)連結・個別業績予想数値の修正について

連結業績及び個別業績は、国内・海外ともに野菜種子の売上が大幅に増加したこと、欧州・アジアの花種子が好調であったことなどから、当初予想比増収となる見込みであります。また利益面につきましても、収益性の高い野菜種子の売上が予想に比べ大きく伸びたことから、当初予想比増益となる見込みです。

この結果、第2四半期における連結業績予想の数値については、売上高を282億21百万円(当初比29億21百万円増、11.5%増)、営業利益を56億円(当初比17億円増、43.6%増)、経常利益を58億75百万円(当初比18億75百万円増、46.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益を43億19百万円(当初比15億19百万円増、54.3%増)に修正いたします。

また個別業績予想の数値については、売上高を172億77百万円(当初比12億77百万円増、8.0%増)、経常利益を30億87百万円(当初比13億87百万円増、81.6%増)、四半期純利益を24億68百万円(当初比11億68百万円増、89.8%増)と見込んでおります。

(2) 通期連結・個別業績予想数値の修正について

通期の連結業績及び個別業績につきましては、上期に計上した売上増のほか、為替が下期にかけて円安に推移していることから想定為替レートを1米ドル110円、1ユーロ115円(前回予想は、1米ドル100円、1ユーロ110円)に変更するため、当初の予想比増収となる見込みです。利益につきましては、上期の収益性の高い種子売上の増収効果や下期の円安による為替影響などにより、当初予想比増益となる見込みであります。

これらの結果、売上高は594億円(当初比33億円増、5.9%増)、営業利益を70億円(当初比10億円増、16.7%増)、経常利益を74億円(当初比11億円増、17.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益を52億円(当初比8億円増、18.2%増)に修正いたします。

また個別業績予想の数値については、売上高を351億円(当初比9億円増、2.6%増)、経常利益を28億円(当初比5億円増、21.7%増)、当期純利益を21億円(当初比3億円増、16.7%増)と見込んでおります。

(注) 本資料に記載された業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上